

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	大腸癌患者の大腸癌組織における Interleukin-24 (IL-24)発現の臨床的意義の検討
	研究対象者	2010 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日の期間に、当院で手術を施行され、進行大腸癌と病理診断された 400 症例。
	研究目的	Interleukin-24 (IL-24)は、サイトカインの一種であり、癌細胞の増殖や存続に対し、阻害的な影響を示すことが報告されている。そこで今回われわれは、大腸癌患者さんの手術標本から作成した大腸癌組織の組織マイクロアレイを用いた免疫染色にて、IL-24 の発現を評価し、臨床病理学的因子、再発及び生存との関係を検討することで、大腸癌患者さんの大腸癌組織における IL-24 発現の臨床的意義について明らかにする。
	研究方法	大腸癌組織より作成した組織マイクロアレイを用いた免疫染色にて、IL-24 タンパクの発現を評価し、臨床病理学的因子及び生存との関係を検討することで、大腸癌患者の大腸癌組織における IL-24 発現の臨床的意義を検討する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2023 年 11 月 13 日～西暦 2026 年 3 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 []西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[X]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 [X]病理検体(具体的に記載:大腸癌)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載:_____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[]生年月日、[X]性別、[]既往歴、[]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[]臨床検査値、[]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[]ゲノムデータ、[]看護記録、[X]その他(具体的に記載: <u>手術日、再発日、最終確認日、生死</u>)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 消化器外科 胃食道 大島 貴
	共同研究機関および責任者	なし

	その他の機関	なし
	外国へ提供する場合	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター・消化器外科 胃食道・大島 貴・ 連絡先 045-520-2222 利用停止のお申し出は 2024 年 3 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	